

平成 20 年（2008 年） 9 月 11 日

市議会議員 様

市民安全担当部長

平成 20 年度日米合同原子力防災訓練の概要について

標記につきまして、本日、別紙のとおり報道発表いたしますので、お知らせいたします。

（事務担当：企画調整部市民安全課 小貫 内線 1402 直通 822-8226）

平成 20 年度日米合同原子力防災訓練の概要

日米合同原子力防災訓練は、平成 19 年 11 月 8 日に、第 1 回目を実施しました。この合同訓練では、事象発生直後の時点で米海軍から迅速な情報提供が行われ、主に初動対応に重きを置いて取り組みました

第 2 回目となる今年度の合同訓練の実施に向け、米海軍や国と調整を行っているところですが、現時点での検討状況は次のとおりです。

第 2 回日米合同原子力防災訓練の概要

(1) 訓練想定・訓練内容

横須賀港寄港中の原子力空母ジョージ・ワシントンの機関室内でトラブルが発生し、ごく低レベルの放射能を含んだ高温の水蒸気が室内に噴出し、乗組員 1 名がごく軽度の被ばくを伴うやけどを負ったという想定の下、次の訓練を行う方向です。

- ①情報伝達・共有訓練
- ②広報訓練
- ③日本人従業員への連絡・通報訓練
- ④合同モニタリング訓練
- ⑤負傷者搬送訓練

(2) 参加予定機関

おおむね昨年の訓練と同様の参加機関を想定しています。

(参考) 昨年の訓練参加機関

日本側：横須賀市、外務省、内閣府、文部科学省、防衛省、海上保安庁、海上自衛隊、神奈川県

米 側：米海軍、米国大使館

(3) 実施日

検討中（年内の実施を想定）